

**平成30年度決算審査における
施策評価結果の令和2年度予算等反映状況**

草 津 市

目 次

評価施策	事業No.	施策名	施策評価対象事業	所管部局	担当課
①	1	文化財の保護と活用の推進	埋蔵文化財発掘調査費	教育委員会事務局	歴史文化財課
	2		宅地開発等関連遺跡発掘調査費	教育委員会事務局	歴史文化財課
	3		史跡草津宿本陣整備費	教育委員会事務局	歴史文化財課
	4		文化財保護助成費	教育委員会事務局	歴史文化財課
	5		史跡芦浦観音寺跡整備費	教育委員会事務局	歴史文化財課
②	6	子ども・子育て支援、ネットワークの充実	育児等支援家庭訪問費	子ども未来部	子育て相談センター
	7		草津っ子サポート事業費	子ども未来部	子ども家庭課
	8		つどいの広場事業費	子ども未来部	子育て相談センター
	9		子育て支援センター運営費	子ども未来部	子育て相談センター
	10		子育て支援拠点施設運営費	子ども未来部	子育て相談センター
③	11	認知症対策の推進	認知症施策推進費	健康福祉部	長寿いきがい課
	12		認知症総合支援事業費	健康福祉部	長寿いきがい課 地域保健課
④	13	道路施設の長寿命化と維持管理	道路維持補修費	建設部	道路課
	14		道路パトロール事業費	建設部	道路課
⑤	15	基礎的コミュニティ活動の支援	行政事務委託料	まちづくり協働部	まちづくり協働課
	16		草津市自治連合会活動費補助金	まちづくり協働部	まちづくり協働課
	17		コミュニティハウス整備事業費補助金	まちづくり協働部	まちづくり協働課
	18		コミュニティ振興費	まちづくり協働部	まちづくり協働課
	19		コミュニティ活動初期備品整備事業費補助金	まちづくり協働部	まちづくり協働課
	20		自治会活動保険加入補助金	まちづくり協働部	まちづくり協働課
⑥	21	産学公民との協働によるまちづくりの展開	共同研究推進費	総合政策部	草津未来研究所
	22		アーバンデザインセンター運営費	総合政策部	草津未来研究所

平成30年度決算審査における施策評価結果の令和2年度予算等反映状況

1 決算審査特別委員会における施策評価

施策番号	①	施策名	文化財の保護と活用の推進	評価結果	A : 施策は、この方向で進める。
施策評価コメント	<p>本件については、昨年度の文教厚生常任委員会の所管事務調査でも指摘したが、老朽化が進んでいたところに台風被害を受けた史跡芦浦観音寺跡については、国への予算要望も含め必要な予算措置を行い、早急に適切な保存に努められたい。</p> <p>また、文化財の活用に当たっては、全庁的な連携を図りながら、まちづくりに活かすという、市の宝を後世にどう残し、どう活用していくのかという視点をもって積極的に取り組まれたい。</p>				
施策評価に対する考え方	<p>史跡芦浦観音寺跡については、令和元年度に策定予定の「史跡芦浦観音寺跡整備基本計画」に基づき、国の財政支援を得ながら、所有者と連携して、重要文化財の建造物をはじめ、史跡全体の適切な保存・活用が図られるよう、計画的に整備事業を進めます。</p> <p>また、文化財の活用については、平成30年に改正された文化財保護法および平成30年度に策定した「草津市歴史文化基本構想」に基づき、本市の歴史文化の特徴をしっかりと捉え、文化財の保存と活用にかかる具体的なアクションプランとして令和元年度に策定予定の「草津市文化財保存活用地域計画」に、市民、文化財所有者・管理者、関連団体、そして市の関係部局が取り組むべき事業の実施方針を定め、文化財の保存・継承が着実に図れるよう、地域の歴史文化の魅力発信と積極的な活用について、計画的に取り組めます。</p>				

2 施策評価対象事業の予算等反映状況

事業NO	1	対象事業名	埋蔵文化財発掘調査事業			
担当部署	教育委員会事務局 歴史文化財課			予算に関する説明書ページ	181	
対象事業に対する評価コメント	<p>本事業は法に定められたものであるが、コストの適正化に努め、効率よく実施されたい。なお、南草津プリムタウン等の発掘調査で得られた成果を広く市民に公開し、まちの歴史を大切にする意識の向上に努めること。</p>					
評価コメントに対する取り組みの考え方	<p>市内には、153の埋蔵文化財包蔵地が所在していますが、これらが開発事業等の実施により失われる可能性を的確に捉え、文化財保護法に基づき適正に発掘調査を進めます。</p> <p>また調査成果については、小学校の体験授業や文化財の普及啓発事業に遺物の展示や実際に見て体感する手法を取り入れるなど、地域の歴史文化にかかる意識醸成への積極的な活用に取り組めます。</p>					
予算措置 令和2年度	予算額 (千円)	合計 (A)	内 訳			
		8,000	国県	市債	その他	一般財源
			6,000			2,000
	事業内容及び積算根拠		◆埋蔵文化財発掘調査費			
	・報酬 3,135千円 ・社会保険料 10千円 ・旅費 102千円 ・需用費 193千円 ・役務費 22千円 ・使用料及び賃借料 4,538千円 (重機・機材借上料等)					
対 比	元年度対比	予算額 (B)	A/B	30年度対比		決算額 (C)
		8,000	100.0%			4,000
						200.0%

事業NO	2	対象事業名	宅地開発等関連遺跡発掘調査事業			
担当部署	教育委員会事務局 歴史文化財課			予算に関する説明書ページ	181	
対象事業に対する評価コメント	埋蔵文化財発掘調査事業と同様に、発掘調査の成果を歴史を大切にすまちづくりに活かす視点を持って取り組まれない。					
評価コメントに対する取り組みの考え方	埋蔵文化財発掘調査事業と同様に、開発事業者等の理解と協力を得ながら、文化財保護法に基づき適正に発掘調査を進めます。 また、南草津プリムタウン土地区画整理事業にかかる調査事業については、令和3年度に事業を終了することから、これまでに得られた多くの調査成果を着実に整理し、令和元年度に策定予定の「草津市文化財保存活用地域計画」に基づき、その価値を本市の歴史文化の魅力の一つとして位置付け、情報発信等に取り組みます。					
予算措置 令和2年度	予算額 (千円)	合計 (A)	内 訳			
		33,463	国県	市債	その他	一般財源
					33,463	0
	事業内容及び積算根拠 ◆宅地開発等関連遺跡発掘調査費					
	<ul style="list-style-type: none"> ・報酬 12,900千円 ・職員手当等 310千円 ・社会保険料 433千円 ・旅費 477千円 ・需用費 3,897千円 ・役務費 388千円 ・委託料 3,575千円 ・使用料及び賃借料 11,222千円 (重機・機材借上料等) ・備品購入費 200千円 ・負担金補助及び交付金 61千円 					
対 比	元年度対比	予算額 (B)	A/B	30年度対比	決算額 (C)	A/C
		53,714	62.3%		56,072	59.7%

事業NO	3	対象事業名	史跡草津宿本陣整備事業			
担当部署	教育委員会事務局 歴史文化財課			予算に関する説明書ページ	181	
対象事業に対する評価コメント	史跡草津宿本陣は後世に伝えるべき重要な建造物であることから、しっかりと保存と整備に努めること。 なお、本市のまちづくりにとって重要な史跡であり、その活用に当たっては地域と一体になることへの視点を持ち、商工観光部門等と十分に連携して進めること。					
評価コメントに対する取り組みの考え方	史跡全体の保存活用の基本方針として、令和元年度に策定予定の「史跡草津宿本陣保存活用計画」に基づき、既に工事済の建物の耐震診断調査を実施し、今後の史跡の具体的な整備方針として定める「整備基本計画」の策定に向け、計画的に取り組めます。 また、草津宿本陣歴史資料調査により、史跡の価値や魅力、地域の歴史を解明し、その成果を周知する機会づくりに努め、商工観光部門等とともに観光事業との連携についても検討を進めます。					
予算措置 令和2年度	予算額 (千円)	合計 (A)	内 訳			
		8,843	国県	市債	その他	一般財源
			4,420			4,423
	事業内容及び積算根拠 ◆史跡草津宿本陣整備費					
	<ul style="list-style-type: none"> ・報償費 156千円 ・旅費 118千円 ・需用費 20千円 ・委託料 8,549千円 (既整備建物 耐震診断調査) 					
対 比	元年度対比	予算額 (B)	A/B	30年度対比	決算額 (C)	A/C
		4,750	186.2%		52	17005.8%

事業NO	4	対象事業名	文化財保護助成事業			
担当部署	教育委員会事務局 歴史文化財課			予算に関する説明書ページ	181	
対象事業に対する評価コメント	文化財の防火・防犯に関しては、特に防犯の取り組みを強化する支援と、大切な文化を後世につなぐ意識の醸成のようなソフトの面からも取り組まれない。 民俗文化や文化財の承継は、所有者および管理者の負担が非常に大きいことから、負担軽減の方策を検討することと、併せて後継者や担い手の不足が課題であり、行政も継承者の育成支援にも取り組まれない。					
評価コメントに対する取り組みの考え方	文化財建造物の防火対策については、自動火災報知機等警報設備の保守点検費用にかかる所有者負担について、適切な助成を行い、継続的な防火対策を支援します。 また、防犯対策および文化財の継承にかかる担い手不足などの課題についても、所有者や管理者に限らず、周辺の地域住民をはじめ、より多くの人々の理解と協力が得られるよう、まず、地域の歴史文化の価値や魅力を適切に伝え、文化財への関心や意識醸成をはかる啓発に取り組まします。					
予算措置 令和2年度	予算額 (千円)	合計(A)	内 訳			
		1,661	国県	市債	その他	一般財源
					1,161	500
	事業内容及び積算根拠		◆文化財保護助成費			
	・負担金補助及び交付金		1,661千円			
対 比	元年度対比	予算額(B)	A/B	30年度対比	決算額(C)	A/C
		1,804	92.1%		1,469	113.1%

事業NO	5	対象事業名	史跡芦浦観音寺跡整備事業			
担当部署	教育委員会事務局 歴史文化財課			予算に関する説明書ページ	183	
対象事業に対する評価コメント	計画策定の業務委託に当たっては、職員の負担軽減を主目的とすることなく、適正な費用対効果やコストの削減を十分に検討すること。 草津を代表する貴重な文化財であるが、整備については課題があると認識する。老朽化が進み、台風被害を受けた本史跡の保存と活用は、今が最後のチャンスと捉え、予算措置等も検討し、課題を乗り越えてしっかりと取り組まれない。					
評価コメントに対する取り組みの考え方	平成16年の史跡指定以降、本史跡は未整備であり、台風被害を受けた重要文化財などの建造物をはじめ、遺構や堀など、その歴史を現在に伝える史跡の構造や機能を含め、適切に次世代へ継承するため、令和元年度に策定予定の「史跡芦浦観音寺跡整備基本計画」に基づき、着実に保存・整備工事を進めます。 また、令和2年度より取り掛かる設計業務についても、民間事業者の専門分野・知識を十分見極め、積極的に活用しながら取組を進めます。					
予算措置 令和2年度	予算額 (千円)	合計(A)	内 訳			
		15,790	国県	市債	その他	一般財源
			5,000	4,500	3,496	2,794
	事業内容及び積算根拠		◆史跡芦浦観音寺跡整備費			
	・報酬 382千円 ・社会保険料 2千円 ・報償費 137千円					
	・旅費 127千円 ・需用費 61千円 ・役務費 11千円					
	・委託料 14,986千円 (整備基本設計 9,207千円、環境整備(境内除草) 5,779千円)					
	・使用料及び賃借料 84千円					
対 比	元年度対比	予算額(B)	A/B	30年度対比	決算額(C)	A/C
		11,823	133.6%		8,202	192.5%

平成30年度決算審査における施策評価結果の令和2年度予算等反映状況

1 決算審査特別委員会における施策評価

施策番号	②	施策名	子ども・子育て支援、ネットワークの充実	評価結果	A : 施策は、この方向で進める。
施策評価コメント	<p>この施策を構成する各事業は子育て支援のための交流の場の提供や訪問事業であり、虐待の早期発見や相談につながるきっかけに有効かつ重要な事業であることから、常に目的を意識し継続して進められたい。</p> <p>また、孤立している家庭や虐待の恐れのある家庭等に対して、各関係課が隙間なく連携し早期に対応できる支援体制の構築にも引き続き取り組まれたい。</p> <p>さらに、「困難な状況にある子どもを一人も取り残さない」という意識を持って、継続した支援ができるよう、各事業および各所属が連携して切れ目のない子育て支援に取り組まれたい。</p>				
施策評価に対する考え方	<p>今後も各事業について、切れ目のない子育て支援を実施していくための事業という明確な意識を持ち、孤立や虐待の恐れのある家庭等を早期に発見・把握することに努めます。</p> <p>また、これらの事案を把握できた時点で、関係各課(関係機関)と速やかな情報共有と個別ケースの支援体制構築を行い、事情の異なる個々の事案に対して円滑で適切な支援を実施できるよう、取組を進めます。</p>				

2 施策評価対象事業の予算等反映状況

事業NO	6	対象事業名	育児等支援家庭訪問事業(すこやか訪問事業)			
担当部署	子ども未来部 子育て相談センター			予算に関する説明書ページ	117	
対象事業に対する評価コメント	<p>本事業は、子育てに不安を抱える保護者の支援のみならず、虐待の早期発見や防止にも有効な手段であることから、課題や問題のある家庭に対しては、家庭児童相談室と綿密に連携して支援に繋がれるよう取り組まれたい。</p>					
評価コメントに対する取り組みの考え方	<p>課題や問題のある家庭に対しては、家庭児童相談室等と綿密に連携することで、速やかかつ適切な対応が行えるよう取組を進めます。また、複数人に対応する訪問事業であることから、担当者によって虐待の早期発見等につながるサインを見逃すことのないよう、定期的なカンファレンスを通じて課題・問題に対する認識の共有化を図ります。</p>					
予算措置 令和2年度	予算額 (千円)	合計(A)	内 訳			
		10,193	国県	市債	その他	一般財源
			187			10,006
事業内容及び積算根拠	<p>◆育児等支援家庭訪問費</p> <p>生後6か月頃から1歳未満のいる家庭に保育士が訪問し、育児相談や子育て支援に関する情報提供、養育環境の確認等を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費(職員3名):8,389千円(報酬、期末手当、社会保険料、旅費) ・消耗品費:1,565千円(うちブックスタート用絵本購入費 1,545千円) ・燃料費:60千円 ・修繕料:100千円 ・通信運搬費:11千円 ・手数料:64千円 ・使用料及び賃借料:4千円 					
対 比	元年度対比	予算額(B)	A/B	30年度対比	決算額(C)	A/C
		9,667	105.4%		9,049	112.6%

事業NO	7	対象事業名	草津っ子サポート事業			
担当部署	子ども未来部 子ども家庭課			予算に関する説明書ページ	117	
対象事業に対する評価コメント	本事業は窓口案内や広報等により対象者に制度が浸透してきていることから、継続して制度周知に取り組むとともに、今後も市民ニーズを的確に把握しながら十分な対応ができるように努められたい。					
評価コメントに対する取り組みの考え方	案内や広報の方法に工夫をしながら、引き続き制度周知に努めるとともに、子育て期における保護者のニーズを把握しながら、家事や育児の負担軽減につながるサービスの提供に努めます。					
予算措置令和2年度	予算額(千円)	合計(A)	内 訳			
		819	国県	市債	その他	一般財源
					141	678
	事業内容及び積算根拠		◆草津っ子サポート事業費			
	<ul style="list-style-type: none"> ・需用費(利用券付チラシ作成費) 32千円(24.5円/1枚×1,180枚×110%=31,801円) ・委託料 779千円(2,500円/h×110%×1,180世帯×6h×4%=778,800円) ・使用料及び賃借料(駐車料) 8千円(100円/0.5h×2.5h×15回=7,500円) 					
対 比	元年度対比	予算額(B)	A/B	30年度対比	決算額(C)	A/C
		631	129.8%		387	211.6%

事業NO	8	対象事業名	つどいの広場事業			
担当部署	子ども未来部 子育て相談センター			予算に関する説明書ページ	117	
対象事業に対する評価コメント	本事業は継続するべきと評価するが、対象事業の施設が近く1つになる予定であることから、今後も子ども・子育て支援法に定める「ひろば型」として継続するのか「センター型」とするのか、立地における必要性や市民ニーズ等の分析および実態の把握につとめ、地域子育て支援拠点事業全体の中での位置づけを検討されたい。					
評価コメントに対する取り組みの考え方	中学校圏域に1か所の子育て支援施設として位置づけをしていることから、対象圏域である高穂中学校区におけるニーズの分析を行います。また、施設利用者が市全域に及ぶことから市内他施設との差別化の観点や実際の立地条件、費用面等からの分析も行き、最も効果的な施設運営となる形態について検討します。					
予算措置令和2年度	予算額(千円)	合計(A)	内 訳			
		4,088	国県	市債	その他	一般財源
			2,674			1,414
	事業内容及び積算根拠		◆つどいの広場事業費			
	<p>おおむね3歳未満の子育て家庭が気軽に集い、子どもの育ちや思いを語り、交流するための広場(つどいの広場「くれよん」)を運営します。</p> <p>・消耗品費:2千円 ・修繕料:25千円 ・委託料:4,011千円 ・備品購入費:50千円</p>					
対 比	元年度対比	予算額(B)	A/B	30年度対比	決算額(C)	A/C
		8,768	46.6%		8,425	48.5%

事業NO	9	対象事業名	子育て支援センター運営事業			
担当部署	子ども未来部 子育て相談センター			予算に関する説明書ページ	117	
対象事業に対する評価コメント	<p>本事業は利用実績が伸びており、子育て世帯からのニーズがあると考えられる事業であるため、継続して取り組まれない。 また、関係機関のネットワークの充実にもよりつとめられたい。</p>					
評価コメントに対する取り組みの考え方	<p>市民のニーズを満たすことができるよう、今後も適正な施設運営に努めます。 また、切れ目のない子育て支援の一角を担う施設であることを意識し、普段の施設運営が虐待の早期発見等に繋がるよう、本部指導機能を通して各施設の運営レベルの向上に努めます。</p>					
予算措置 令和2年度	予算額 (千円)	合計(A)	内 訳			
		30,738	国県	市債	その他	一般財源
	事業内容及び積算根拠	<p>◆子育て支援センター運営費 子育て支援の総合拠点である「草津市子育て支援センター」を核として、地域子育て支援センター等の子育て支援機関と連携を図りながら、子育てに関する相談や親子の交流、学習の場を提供するとともに、子育ての不安や悩みを抱える家庭の解消に向け事業を推進します。 ・人件費(職員3名):10,582千円(報酬、期末手当、社会保険料、旅費) ・委託料:16,464千円 ・需用費:1,014千円(消耗品費、食糧費、修繕料)・使用料及び賃借料:2,133千円 ・その他費用:545千円(報償金、旅費、通信運搬費、保険料、通行料、駐車料、備品購入費)</p>				
対 比	元年度対比	予算額(B)	A/B	30年度対比	決算額(C)	A/C
		26,993	113.9%		25,362	121.2%

事業NO	10	対象事業名	子育て支援拠点施設運営事業			
担当部署	子ども未来部 子育て相談センター			予算に関する説明書ページ	117	
対象事業に対する評価コメント	<p>本事業については、当初の見込みを超える利用者数があるが、多様な目的で利用されている実態も見られることから、今後は、子育て支援拠点施設であることを念頭に、適切な運営に努められたい。 特に、保護者が子育ての不安を軽減できるよう、一次的な相談ができる施設としての機能強化に取り組まれたい。</p>					
評価コメントに対する取り組みの考え方	<p>他の施設と比較して利用目的が多様化する傾向はありますが、利用要件を明示していることから、本来の施設利用目的に大きく逸脱する現状は確認しておりません。しかしながら、利用目的の幅が広いことを念頭に置き、様々なニーズに応えることができるよう、今後も適切な運営に努めていきます。また、利用者支援事業の強化に努め、「相談しやすい」施設の雰囲気醸成し、利用者と同じ立場からアドバイスを送ることのできる、より身近な施設として市民に認識をしていただけるよう、取組を進めます。</p>					
予算措置 令和2年度	予算額 (千円)	合計(A)	内 訳			
		39,944	国県	市債	その他	一般財源
	事業内容及び積算根拠	<p>◆子育て支援拠点施設運営費 子どもと保護者が交流することのできる場の提供や、子育てに関する相談機能、子育てに関する情報発信機能を備えた子育ての中核拠点となる施設として、子育て支援拠点施設を適切に運営します。 ・消耗品費:470千円 ・修繕料:100千円 ・保険料:26千円 ・委託料:21,293千円 ・使用料及び賃借料:13,937千円 ・備品購入費:4,118千円</p>				
対 比	元年度対比	予算額(B)	A/B	30年度対比	決算額(C)	A/C
		35,017	114.1%		35,447	112.7%

平成30年度決算審査における施策評価結果の令和2年度予算等反映状況

1 決算審査特別委員会における施策評価

施策番号	③	施策名	認知症対策の推進	評価結果	A : 施策は、この方向で進める。
施策評価コメント	<p>両事業とも、認知症対策の推進にとって有効な事業であると考え、認知症に関する知識や地域包括支援センターの存在や支援体制に関する理解について、接点が無い方の認知度が低い、さらに周知を図り、認知症に対する理解の広がりが求められる。特に様々な世代に認知症の正しい知識や理解をしていくことが安心な地域づくりにつながるため、幅広い世代へのサポーター講座の実施につとめられたい。</p> <p>また、認知症対策を地域包括支援センターに任せきりにすることなく、地域全体で取り組めることができる仕組みづくりをさらに推進されたい。</p>				
施策評価に対する考え方	<p>今後とも、認知症サポーター養成講座の受講者がさらに増えるよう、高齢者がかかわる団体をはじめ、小中学生を含めた若年層や働き世代への周知に取り組み、認知症の正しい理解を普及していきます。</p> <p>また、令和2年度に(仮称)認知症があっても安心なまちづくり条例を制定し、条例の理念のもと、地域包括支援センターを含めた関係機関だけでなく、市・市民・事業者・地域組織・関係機関が相互に連携・協働し、認知症の人およびその家族を支える地域づくりを推進していきます。</p>				

2 施策評価対象事業の予算等反映状況

事業NO	11	対象事業名	認知症施策推進事業			
担当部署	健康福祉部 長寿いきがい課			予算に関する説明書ページ	300	
対象事業に対する評価コメント	<p>認知症サポーター養成講座の受講者数が既に目標に達するなど、多くの市民に認知症に対する基礎的な理解が広がっていることは高く評価する。一方で、ステップアップ講座の受講者数はまだ少ない現状である。今後、地域支援のネットワークの構築を目指し、認知症があっても安心の地域づくりの要となって頂けるように、これらの受講者がさらに増加するよう事業の周知等に取り組まれたい。</p>					
評価コメントに対する取り組みの考え方	<p>認知症サポーター養成講座については、引き続き幅広い世代への開催を継続するとともに、認知症サポーターが認知症の人やその家族を地域全体で支え合うことを学ぶ場として、ステップアップ講座を受講できる体制を整えます。</p> <p>また、令和2年度においては、条例を制定し、認知症を我が事と捉え、地域での理解を今まで以上に進めるため、認知症シンポジウムを開催し、さらなる普及・啓発を図ります。</p>					
予算措置 令和2年度	予算額 (千円)	合計(A)	内 訳			
		2,854	国県	市債	その他	一般財源
			1,022		748	1,084
事業内容及び積算根拠	<p>◆認知症施策推進費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報酬 494千円 ・印刷製本費 299千円 ・報償金 503千円 ・保険料 335千円 ・旅費 220千円 ・委託料 15千円 ・消耗品費 545千円 ・使用料及び賃借料 217千円 ・食糧費 14千円 ・手数料 212千円 					
対 比	元年度対比	予算額(B)	A/B	30年度対比	決算額(C)	A/C
		1,537	185.7%		684	417.3%

事業NO	12	対象事業名	認知症総合支援事業			
担当部署	健康福祉部 長寿いきがい課、地域保健課			予算に関する説明書ページ	300	
対象事業に対する評価コメント	<p>認知症があっても安心して地域で暮らせるための事業として評価している。 初期の認知症対応の制度があっても、地域の見守り等の中で、認知症のある方への気付きがあった時に、どこにつなげばよいのか分からない市民も多いと思われるので、窓口である地域包括支援センターの存在や役割を名称等の工夫によりわかりやすくする工夫を検討されたい。</p>					
評価コメントに対する取り組みの考え方	<p>地域包括支援センターは各中学校区への設置から6年が経過し、この名称で各センターも周知活動を行い、地域の中で慣れ親しまれていることから、現時点では名称の変更等は考えておりませんが、今後も、広報紙や地域での啓発の機会等を通じて、認知症の相談をはじめ、高齢者の相談窓口としての存在や役割を周知していきます。</p>					
予算措置 令和2年度	予算額 (千円)	合計(A)	内 訳			
		19,670	国県	市債	その他	一般財源
	事業内容及び積算根拠	◆認知症総合支援事業費	11,359		8,311	0
<p>認知症地域支援推進員活動費：地域保健課 ・委託料 18,228千円 認知症初期集中支援チーム活動費：長寿いきがい課 ・報酬 1,337千円 ・旅費 48千円 ・消耗品費 25千円 ・通信運搬費 13千円 ・使用料及び賃借料 19千円 ※支援者数 10人(予定)</p>						
対 比	元年度対比	予算額(B)	A/B	30年度対比	決算額(C)	A/C
		19,711	99.8%		19,232	102.3%

平成30年度決算審査における施策評価結果の令和2年度予算等反映状況

1 決算審査特別委員会における施策評価

施策番号	④	施策名	道路施設の長寿命化と維持管理	評価結果	A : 施策は、この方向で進める。
施策評価コメント	<p>両事業とも、道路施設の長寿命化と維持管理にとって必要不可欠であり、道路の補修箇所の早期発見、早期補修が重要である。これに充てる財源には限りがあることは理解するが、今後も合理的に優先順位をつけて、計画的に進められたい。</p> <p>また、補修工事に使用する材料や手法等について、長期的なコスト比較を行い、施設の長寿命化に向けた手法を検討されたい。</p>				
施策評価に対する考え方	<p>道路補修箇所の早期発見、早期補修に向けて、道路パトロールを行いつつ、町内会や市民等からの情報提供を基に、緊急性等を勘案し、合理的かつ適正な維持管理を図ります。また、施設の長寿命化に向けた効率的な修繕の手法等の検討に努めます。</p>				

2 施策評価対象事業の予算等反映状況

事業NO	13	対象事業名	道路維持補修事業			
担当部署	建設部 道路課			予算に関する説明書ページ	149	
対象事業に対する評価コメント	<p>国の交付金の減少など財源確保の課題はあるが、早期に補修箇所を発見し、適切に維持管理されるよう努められたい。</p> <p>なお、道路補修や長寿命化工事に当たっては、長期的な費用対効果も念頭に、より高性能なアスファルト舗装の技術を導入するなど、恒常的に見直しを図られたい。</p> <p>また、計画的な道路補修に当たっては、優先順位や必要性等、市民に合理的に説明できるよう努められたい。</p>					
評価コメントに対する取り組みの考え方	<p>引き続き国へ交付金の要望を行っていくとともに、市道の補修箇所の早期発見、早期修繕に向けた適正な維持管理に努めます。</p> <p>なお、道路補修や道路施設の長寿命化に向けた適正な修繕の実施に当たっては、長期的な費用対効果も考慮した技術の導入や手法について、引き続き見直しを図ります。</p> <p>また、補修箇所の緊急性等を勘案し、優先順位に基づき補修を実施できるよう引き続き精査に努めます。</p>					
予算措置令和2年度	予算額(千円)	合計(A)	内 訳			
		622,664	国県	市債	その他	一般財源
			78,811	128,800	186,000	229,053
事業内容及び積算根拠	◆道路維持補修費					
	橋梁長寿命化修繕事業	147,100千円	道路附属物修繕事業	17,940千円		
	舗裝修繕事業	71,060千円	道路照明灯LED化改修	25,300千円		
	点々維持工事	50,000千円	設計監理補助業務	30,272千円		
	点々舗装工事	50,000千円	その他	123,507千円		
	街路樹維持管理業務	51,000千円				
	路肩草刈業務	56,485千円				
対 比	元年度対比	予算額(B)	A/B	30年度対比	決算額(C)	A/C
		604,525	103.0%		389,575	159.8%

事業NO	14	対象事業名	道路パトロール事業			
担当部署	建設部 道路課			予算に関する説明書ページ	149	
対象事業に対する評価コメント	<p>パトロールについて河川課と合同で実施することで経費削減に努めていることは評価する。市道における事故が無いよう、アプリの導入を始め、市民による道路補修箇所の通報が早期発見、早期対応につながる仕組みづくりへの検討を継続して図られたい。</p> <p>また、職員にあつては、通勤時や公用車運転時に、補修が必要な箇所を担当課に通報するよう引き続き啓発されたい。</p>					
評価コメントに対する取り組みの考え方	<p>パトロール業務によって道路補修箇所の早期発見、早期補修に努めていくとともに、今後、アプリやAIといった先進技術の情報収集に努め、費用対効果を精査し、継続して導入の検討を図ります。</p> <p>また、職員が道路補修箇所を発見した際、担当課へ迅速に通報するよう、引き続き啓発を図ります。</p>					
予算措置令和2年度	予算額(千円)	合計(A)	内 訳			
		31,000	国県	市債	その他	一般財源
	事業内容及び積算根拠		◆道路パトロール事業費			
委託料 31,000千円						
対 比	元年度対比	予算額(B)	A/B	30年度対比	決算額(C)	A/C
		18,600	166.7%		17,643	175.7%

平成30年度決算審査における施策評価結果の令和2年度予算等反映状況

1 決算審査特別委員会における施策評価

施策番号	⑤	施策名	基礎的コミュニティ活動の支援	評価結果	B :改善・見直しが必要
施策評価コメント	<p>この施策を構成する各事業は、いずれも地域コミュニティの形成や住民主体のまちづくりの推進であり重要であるので、有効な支援として継続して進められたい。</p> <p>その為にも、自治会がどのように運営され、何を課題とされ、何を行政に求められているのか、十分な把握に努められたい。そのうえで、従来の手法や内容にとどまるのではなく、各支援事業については、使い勝手の良い、時代や市民ニーズに合うような改善・見直しをされ、かつ補助事業の適切な運営にも努められ、基礎的コミュニティの維持・発展を支援されたい。</p>				
施策評価に対する考え方	<p>良好な地域社会の形成や住民福祉の増進、地域の連帯感の醸成など住民主体のまちづくりを進めていくため、地域コミュニティに対する支援を継続して取り組みます。</p> <p>少子高齢化やライフスタイルの変化、価値観の多様化など、地域を取り巻く環境も大きく変化していることから、ニーズを的確に把握し、これまでの取組で良いところは活かしつつ、より効果的な事業実施手法を適宜取り入れることで、基礎的コミュニティが維持および発展するよう支援を行います。</p>				

2 施策評価対象事業の予算等反映状況

事業NO	15	対象事業名	行政事務委託事業			
担当部署	まちづくり協働部 まちづくり協働課			予算に関する説明書ページ	93	
対象事業に対する評価コメント	<p>行政事務委託料の算出根拠となる加入世帯数については、正確な把握に努められたい。</p> <p>また、行政事務委託については、町内会長等の役割や町内会活動の実態の把握に努め、現在、依頼している業務の負担軽減につながる見直しを検討されたい。</p>					
評価コメントに対する取り組みの考え方	<p>正確な加入世帯数の把握については、提出いただく総会資料等をもとに確認していますが、引き続き、適正な運用を図ります。</p> <p>また、行政事務に対する町内会の負担が高まってきていることから、負担軽減を進め、地域の理解が得られる行政事務の在り方について検討します。</p>					
予算措置 令和2年度	予算額 (千円)	合計 (A)	内 訳			
		93,005	国県	市債	その他	一般財源
						93,005
事業内容及び積算根拠	<p>◆行政事務委託料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政事務委託料 92,767千円 ・おうみ自治体クラウド・情報基盤サービス事業使用料 238千円 					
対 比	元年度対比	予算額 (B)	93,324	A/B	99.7%	30年度対比
		決算額 (C)	96,310	A/C	96.6%	

事業NO	16	対象事業名	草津市自治連合会活動補助事業			
担当部署	まちづくり協働部 まちづくり協働課			予算に関する説明書ページ	93	
対象事業に対する評価コメント	現在の事業内容は感謝状の贈呈が主になっているが、連合会は、自治会活動の振興につながる事業を行うべきと考える。 市内には、すでに自治連合会を置かない学区もあり、補助金の趣旨が分かりづらくなっているのが明確化されたい。					
評価コメントに対する取り組みの考え方	地域では自治連合会やまちづくり協議会における町内会長委員会、自治部会など名称や組織体制は様々ですが、地域を超えた連携を図り、住み良いまちの実現のために住民自治や地域コミュニティの共通する課題について市全体で取り組みます。					
予算措置 令和2年度	予算額 (千円)	合計 (A)	内 訳			
		117	国県	市債	その他	一般財源
						117
	事業内容及び積算根拠		◆草津市自治連合会活動費補助金			
	<ul style="list-style-type: none"> ・会議費 10千円 ・事業費 73千円 ・事務費等 34千円 					
対 比	元年度対比	予算額 (B)	A/B	30年度対比	決算額 (C)	A/C
		117	100.0%		81	144.4%

事業NO	17	対象事業名	コミュニティハウス整備補助事業			
担当部署	まちづくり協働部 まちづくり協働課			予算に関する説明書ページ	93	
対象事業に対する評価コメント	本事業は、地域コミュニティの活動の場である集会所の新設・維持等に大きく貢献していることから、引き続き進められたい。なお、法の改正等により防火・防災の面で改善等が必要となる事例もあるので、時代のニーズに応じた新たな補助メニューや使い勝手の良い制度となるよう検討されたい。					
評価コメントに対する取り組みの考え方	国の法改正等の動向や他市の事例に留意し、補助メニューの追加など活用のしやすい制度となるよう検討します。また、災害被害等への臨時的な対応など、ニーズを的確に捉えた支援を行います。					
予算措置 令和2年度	予算額 (千円)	合計 (A)	内 訳			
		964	国県	市債	その他	一般財源
			204			760
	事業内容及び積算根拠		◆コミュニティハウス整備事業費補助金			
	<ul style="list-style-type: none"> ・集会所のバリアフリー対応に係る改修 件数 2件 634千円 ・集会所の改造・増築・修繕 件数 1件 330千円 町内会からの申請が少なかったため、令和元年度より減少(6件→3件)しています。					
対 比	元年度対比	予算額 (B)	A/B	30年度対比	決算額 (C)	A/C
		14,241	6.8%		6,258	15.4%

事業NO	18	対象事業名	コミュニティ振興事業			
担当部署	まちづくり協働部 まちづくり協働課			予算に関する説明書ページ	93	
対象事業に対する評価コメント	本事業は、コミュニティ活動の支援に有効に活用されていることから継続して取り組まれない。					
評価コメントに対する取り組みの考え方	町内会等からの相談対応や町内会による円滑なコミュニティ活動の推進のための補助制度を継続しつつ、社会状況の変化を見極め必要な事業を実施します。					
予算措置 令和2年度	予算額 (千円)	合計(A)	内 訳			
		15,165	国県	市債	その他	一般財源
	事業内容及び積算根拠	◆コミュニティ振興費				
			・草津市コミュニティ助成事業補助金(設備支援)	4,700千円		
			・草津市コミュニティ振興交付金(上下水道料金支援)	1,495千円		
			・印刷製本費(まちづくり資料集の発行等)	162千円		
			・手数料(広報紙配送手数料等)	5,622千円		
			・その他事務費(会計年度職員1名任用他)	3,186千円		
対 比	元年度対比	予算額(B)	A/B	30年度対比	決算額(C)	A/C
		14,040	108.0%		6,683	226.9%

事業NO	19	対象事業名	コミュニティ活動初期備品整備補助事業			
担当部署	まちづくり協働部 まちづくり協働課			予算に関する説明書ページ	93	
対象事業に対する評価コメント	事業としては継続するべきと評価するが、利用実績が少ない現状に鑑み、新しい町内会のニーズに合うような使い勝手の良いメニューとなるよう工夫を検討されたい。					
評価コメントに対する取り組みの考え方	今後も宅地開発に伴う町内会設立が見込まれています。新たに結成される町内会の初期のコミュニティ活動に対して効果的に支援を行うため、活用しやすい制度となるよう検討します。					
予算措置 令和2年度	予算額 (千円)	合計(A)	内 訳			
		90	国県	市債	その他	一般財源
	事業内容及び積算根拠	◆コミュニティ活動初期備品整備事業費補助金				
			コミュニティ活動初期備品整備事業費補助金			
			@270千円×1/3×1町内会=90千円			
対 比	元年度対比	予算額(B)	A/B	30年度対比	決算額(C)	A/C
		180	50.0%		0	

事業NO	20	対象事業名	自治会活動保険加入補助事業			
担当部署	まちづくり協働部 まちづくり協働課			予算に関する説明 書ページ	93	
対象事業に対する 評価コメント	各町内で実際に保険が適用された事例等の把握に努め、他の町内会への情報のフィードバックや共有が必要と考える。 また、町内会が積極的に加入できるよう補助制度のあり方を検討されたい。					
評価コメントに対する 取り組みの 考え方	保険適用の実態把握と各町内会への情報の共有に努めます。また、保険加入補助事業の継続を含め、住民が安心してコミュニティ活動に参加できる環境づくりに寄与する事業を検討します。					
予算措置 令和2年度	予算額 (千円)	合計(A)	内 訳			
			国県	市債	その他	一般財源
		3,546				3,546
	事業内容及び積算根拠	◆自治会活動保険加入補助金 自治会活動保険加入補助金 3,546千円				
対 比	元年度対比	予算額(B)	A/B	30年度対比	決算額(C)	A/C
		3,401	104.3%		3,214	110.3%

平成30年度決算審査における施策評価結果の令和2年度予算等反映状況

1 決算審査特別委員会における施策評価

施策番号	⑥	施策名	産学公民との協働によるまちづくりの展開	評価結果	B :改善・見直しが必要
施策評価コメント	<p>各事業については、市として独自性のある有効な事業と考えるが、成果の活かし方を含め事業成果が見えづらいことから、成果指標の設定に当たっては、定量的なものではなく事業のめざすゴールを明らかにした上で、現在の達成状況を示すような指標への見直しが必要と考える。</p> <p>また、アーバンデザインセンターについては、産学公民それぞれの立場が新たな発想を生み、波及効果が期待されるプラットフォームであることから、今後は、特に「産」との連携を強化し、その機能が十分に果たせるよう、費用対効果を含めて改善見直しが必要である。</p>				
施策評価に対する考え方	<p>成果指標の設定につきましては、令和3年度からとなる第6次草津市総合計画の際に、定量的な指標設定に拘ることなく、産学公民の連携の充実状況が示せる指標設定となるよう見直しを行います。</p> <p>また、アーバンデザインセンターについては、連携の強化が求められる「産」に対して、UDCBK事業運営懇話会等を通じて積極的な働きかけを行い、産学公民それぞれの立場から十分な連携が図れるよう取り組みます。</p>				

2 施策評価対象事業の予算等反映状況

事業NO	21	対象事業名	共同研究推進事業			
担当部署	総合政策部 草津未来研究所			予算に関する説明書ページ	89	
対象事業に対する評価コメント	<p>共同研究は、未来研究所がある、という本市ならではの施策展開であり、地域性を活かすための重要な取り組みと評価する。については、研究テーマの選定が重要なカギとなるため、課題把握等、庁内でのコンセンサスが得られ活かすことを意識するよう、十分な精査検討が必要である。</p> <p>その上で、研究成果が、市の施策等にどのように活用・反映されたのかを継続的に把握、検証をして、今後の研究の質的向上につなげられたい。</p>					
評価コメントに対する取り組みの考え方	<p>研究テーマの設定につきましては、中長期的な視点を軸に行っておりますが、庁内で活用されやすい内容を意識した研究テーマの設定についても、今後検討していきます。また、研究成果の反映の把握・検証につきましては、研究テーマに関係する部署に聞き取り等を行いながら、今後の研究に対する取組方法等を検討していき、質の高い研究成果が示せるように鋭意努めていきます。</p>					
予算措置 令和2年度	予算額 (千円)	合計(A)	内 訳			
		2,000	国県	市債	その他	一般財源
	事業内容及び積算根拠		◆共同研究推進費 ・共同研究・専門的指標分析委託等 2,000千円			
対 比	元年度対比	予算額(B)	A/B	30年度対比	決算額(C)	A/C
		2,000	100.0%		1,366	146.4%

事業NO	22	対象事業名	アーバンデザインセンター運営事業			
担当部署	総合政策部 草津未来研究所			予算に関する説明書ページ	89	
対象事業に対する評価コメント	<p>事業目的や成果等について、市民への認知度は未だ不十分である。賃料を含め運営コストが多であるからこそ、費用対効果を明らかにするため、利用者数等、現在の成果指標は見直し、事業の到達点ができるような指標の設定を検討されたい。</p> <p>法人化については、設立当初の目標設定に照らして、今後、具体的に課題整理を行いながら、具体的な目処も含め、適切な方向性を検討されたい。</p>					
評価コメントに対する取り組みの考え方	<p>UDCBKの成果指標については、事業の到達点ができるような指標の設定を検討していきます。</p> <p>また、法人化については、昨年度までの検討の結果を参考に当面の間は現行組織体制で事業を実施し、その活動結果を踏まえながら多様な組織形態を念頭に置きつつ、引き続き検討していきます。</p>					
予算措置令和2年度	予算額(千円)	合計(A)	内 訳			
		20,573	国県	市債	その他	一般財源
	事業内容及び積算根拠	◆アーバンデザインセンター運営費	1,070			19,503
		<ul style="list-style-type: none"> ・UDCBK事業運営懇話会 320千円 ・アーバンデザインスクール開催費 743千円 ・アーバンデザインセミナー開催費 398千円 ・社会実験準備事業等 1,000千円 ・UDCBKテナント賃料(光熱水費含む) 9,193千円 ・南草津エリアまちづくり推進ビジョン懇話会運営費 500千円 ・その他運営管理費 8,419千円 				
対 比	元年度対比	予算額(B)	A/B	30年度対比	決算額(C)	A/C
		15,788	130.3%		13,876	148.3%

